

令和5年度島根県学力調査結果

(益田市概要)

令和6年2月

益田市教育委員会

I 調査の実施について

1 目的

学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習の状況及び学習や生活に関する意識や実態を客観的に把握することを通して、益田市小中学校における学習指導上の課題の改善状況を明らかにし、今後の教育施策の充実及び学校における指導の一層の改善に資する。

2 調査実施日

令和5年12月5日（火）

3 実施校数・学年・教科等・人数

校種	実施校数	学年	教科に関する調査(人)			生活・学習に関する意識調査
			国語	算数 数学	英語	
小学校	15校	5年	355	355		344
		6年	351	351		349
中学校	9校	1年	335	334	335	336
		2年	367	367	368	372

II 用語

- 「正答率」 … 各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合(%)を島根県または益田市単位で平均した値
- 「領域」 … 各教科の学習内容を系統的に示したもの。
例えば、算数では「数と計算」「図形」など。

III 公表について

1 公表の内容

教科及び生活習慣や学習意識等に関する調査結果について、益田市全体の結果

2 公表結果に関する留意事項

- ◇本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力や生活意識等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと。
- ◇本調査における正答率1ポイントの差は、正答数に換算すると0.13問～0.25問の差に過ぎないこと。したがって、数値の細かな差のみに着目するのではなく、全体の傾向を大きく捉えたり、無解答率や誤答等も含めて、成果と課題を丁寧に捉えたりすることが必要である。

Ⅳ 結果の概要

1 教科に関する調査

(1)各教科の正答率

益田市、島根県の数値の単位：％(小数第1位を四捨五入)
島根県と益田市の比較の単位：ポイント(小数第1位を四捨五入)

○ 益田市の平均正答率が島根県の平均正答率よりも3ポイント以上 上回るもの
▽ 益田市の平均正答率が島根県の平均正答率よりも3ポイント以上 下回るもの

小学校 国語

学年	項 目		R5		
			益田市	島根県	比較 ポイント
小5	教科総合		66	67	-1
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	72	74	-2
		情報の扱い方に関する事項	33	36	▽ -3
		我が国の言語文化に関する事項	44	47	▽ -3
		話すこと・聞くこと	66	66	0
		書くこと	60	59	1
		読むこと	63	65	-2
小6	教科総合		57	59	-2
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	55	57	-2
		情報の扱い方に関する事項	39	44	▽ -5
		我が国の言語文化に関する事項	64	65	-1
		話すこと・聞くこと	68	71	▽ -3
		書くこと	57	55	2
		読むこと	55	61	▽ -6

中学校 国語

学年	項 目		R5		
			益田市	島根県	比較 ポイント
中1	教科総合		57	60	▽ -3
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	53	57	▽ -4
		情報の扱い方に関する事項	38	42	▽ -4
		我が国の言語文化に関する事項	24	27	▽ -3
		話すこと・聞くこと	86	87	-1
		書くこと	52	54	-2
		読むこと	60	63	▽ -3
中2	教科総合		64	66	-2
	領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	74	77	▽ -3
		情報の扱い方に関する事項	52	51	1
		我が国の言語文化に関する事項	68	68	0
		話すこと・聞くこと	70	73	▽ -3
		書くこと	47	49	-2
		読むこと	66	68	-2

小学校 算数

学年	項 目		R5		
			益田市	島根県	県比較 ポイント
小5	教科総合		53	55	-2
	領域	数と計算	56	58	-2
		図形	59	62	▽ -3
		変化と関係	37	40	▽ -3
		データの活用	35	35	0
		教科総合	68	67	1
小6	領域	数と計算	69	67	2
		図形	73	75	-2
		変化と関係	50	48	2

中学校 数学

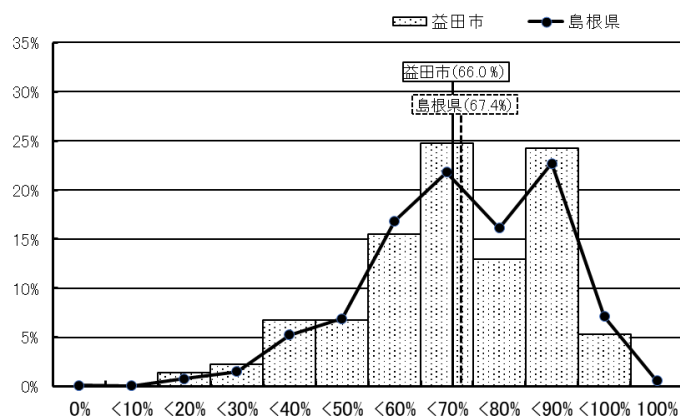
学年	項 目		R5		
			益田市	島根県	県比較 ポイント
中1	教科総合		51	52	-1
	領域	数と式	49	51	-2
		図形	67	70	▽ -3
		関数	48	48	0
中2	教科総合		48	47	1
	領域	数と式	44	44	0
		図形	65	64	1
		関数	46	44	2

中学校 英語

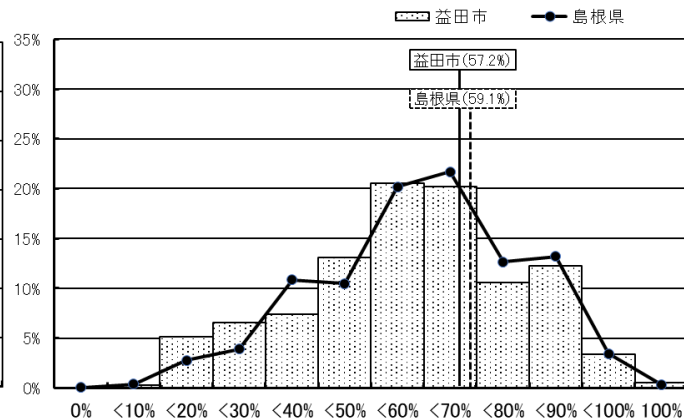
学年	項 目		R5		
			益田市	島根県	比較 ポイント
中1	教科総合		51	51	0
	領域	聞くこと	59	60	-1
		読むこと	51	51	0
		書くこと	44	42	2
中2	教科総合		45	47	-2
	領域	聞くこと	51	54	▽ -3
		読むこと	49	52	▽ -3
		書くこと	30	34	▽ -4

(2) 各教科の正答率度数分布（横軸：正答率 縦軸：人数の割合）

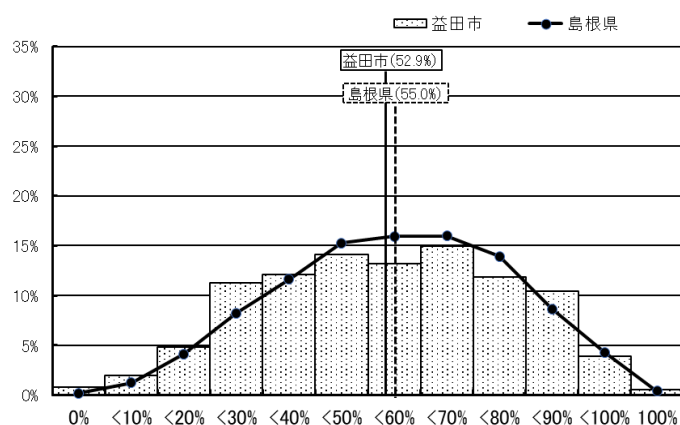
小学5年 国語



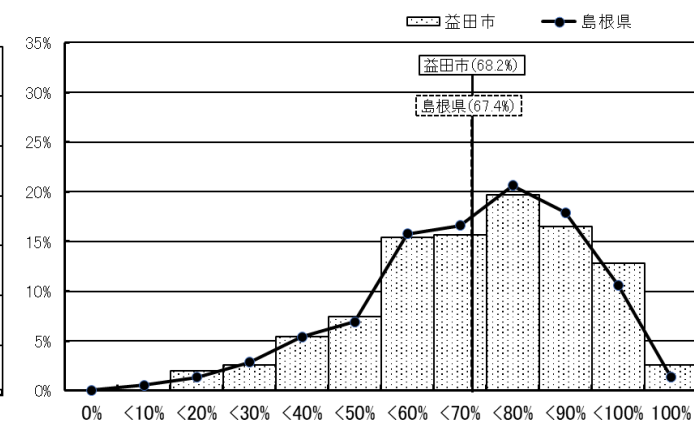
小学6年 国語



小学5年 算数



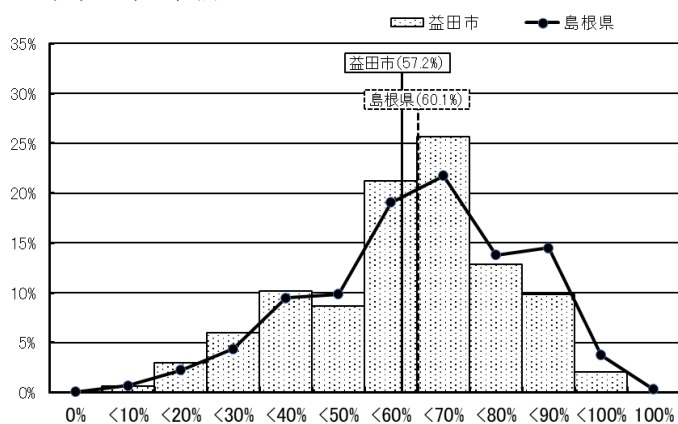
小学6年 算数



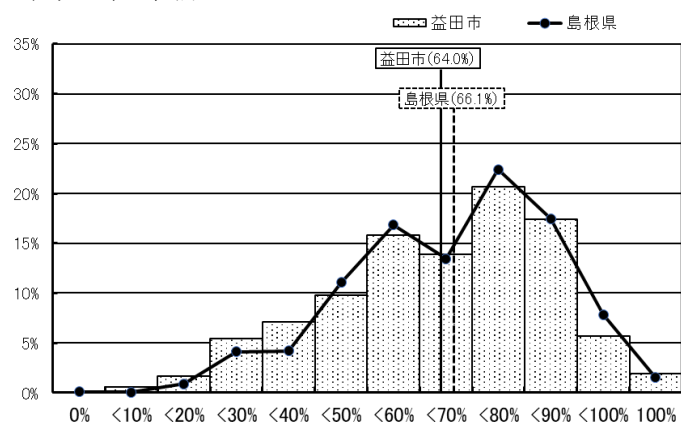
※横軸の数値について

グラフ	範囲 (n)	グラフ	範囲 (n)
0%	$n = 0\%$	< 60%	$50 \leq n < 60\%$
< 10%	$0\% < n < 10\%$	< 70%	$60 \leq n < 70\%$
< 20%	$10\% \leq n < 20\%$	< 80%	$70 \leq n < 80\%$
< 30%	$20\% \leq n < 30\%$	< 90%	$80 \leq n < 90\%$
< 40%	$30\% \leq n < 40\%$	< 100%	$90 \leq n < 100\%$
< 50%	$40\% \leq n < 50\%$	100%	$n = 100\%$

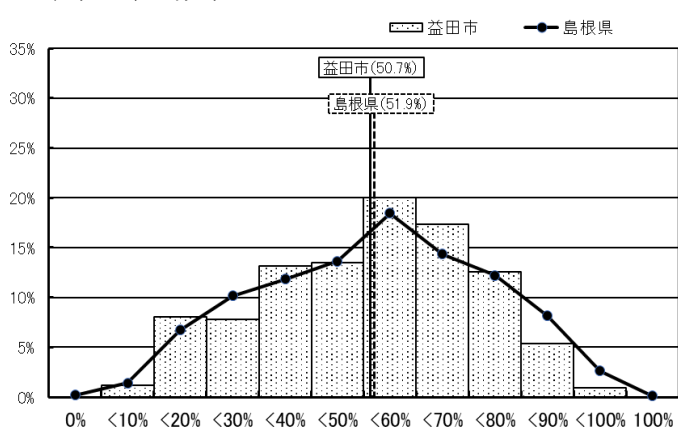
中学1年 国語



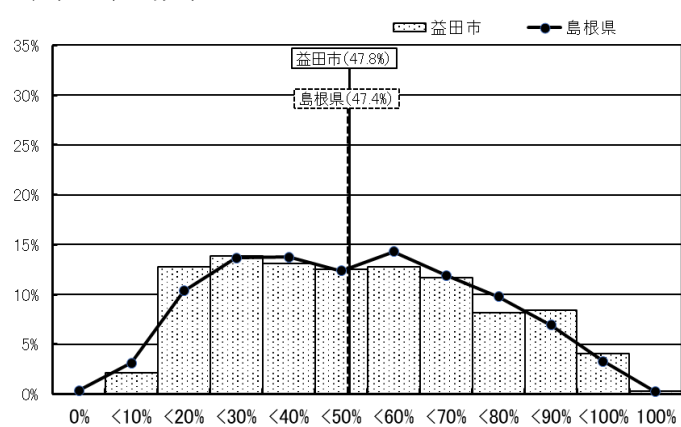
中学2年 国語



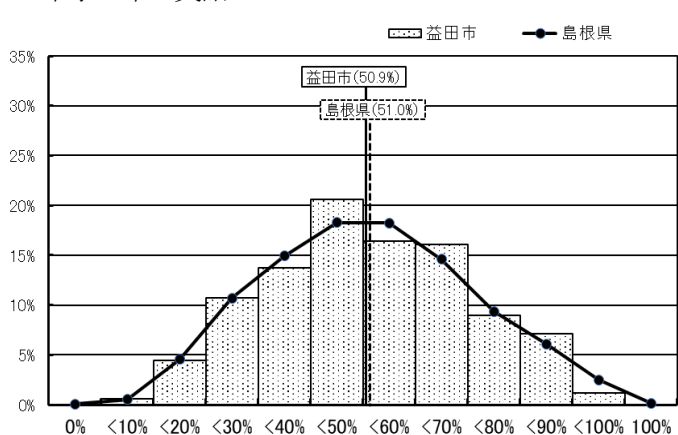
中学1年 数学



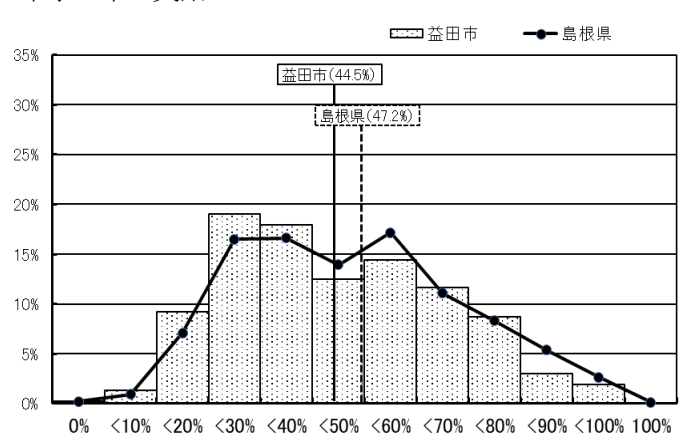
中学2年 数学



中学1年 英語



中学2年 英語



(3) 各教科の設問にみられる成果や課題の概要

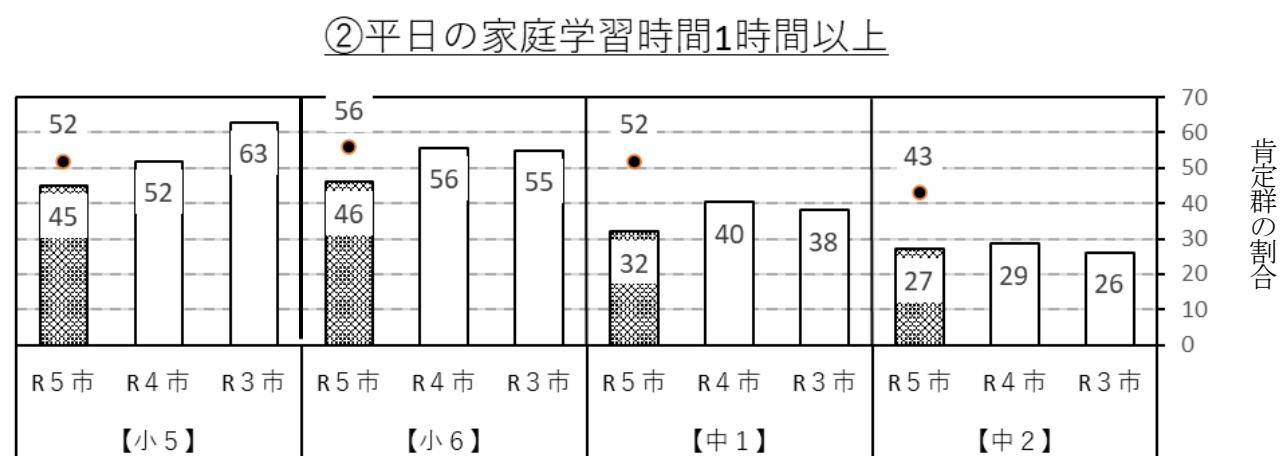
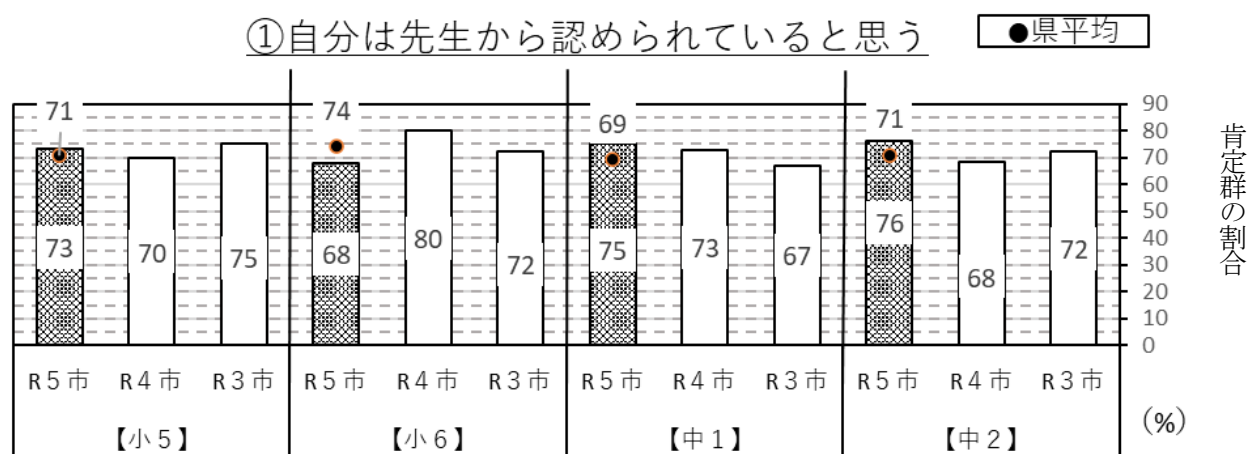
○県平均正答率より、5ポイント以上上回った設問

▲県平均正答率より、5ポイント以上下回った設問

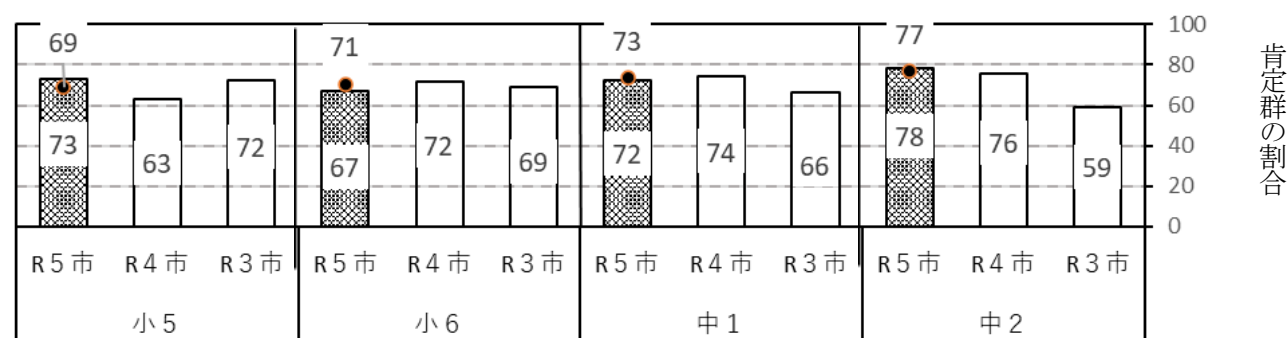
学年	教科	設問と評価（県平均との差）
小5	国語	○連用修飾語について理解している。（＋10） ▲第4学年に配当されている漢字を正しく書いている（希望）（塩）。（－7） ▲文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。（－9） ▲文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（－5）
	算数	▲整数÷整数の商を分数で表すことができる。（－10） ▲分数の分子と分母に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさであることを理解している。（－8） ▲真分数＋真分数＝真分数で、分母どうしをかける通分をする計算ができる。（－7） ▲帯分数－真分数＝真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算（約分あり）ができる。（－6） ▲直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる。（－6） ▲三角形の3つの角の和を理解し、2つの角の大きさから残りの角の大きさを求めることができる。（－6） ▲四角形の4つの角の和を理解し、3つの角の大きさから残りの角の大きさを求めることができる。（－6）
小6	国語	○指定された長さで文章を書いている。（＋9） ○予想される反論とそれに対する意見を書いている。（＋7） ▲意図に応じて、質問を工夫している。（－6） ▲第5学年の配当されている漢字を正しく書いている（招待）。（－6） ▲文と文との接続の関係を理解している。（－5） ▲登場人物の心情について、描写を基に捉えている。（－13） ▲人物像を具体的に想像している。（－5） ▲文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（－6） ▲叙述を基に文章の内容を考えている。（－6） ▲情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している。（－6）
	算数	○真分数÷真分数×仮分数の計算ができる。（＋7） ○比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶことができる。（＋5） ○文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表している。（＋6） ○2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。（＋6） ▲拡大図の性質を理解し、対応する辺の長さを求めることができる。（－5） ▲縮図を使って実際の長さを求めている。（－5） ▲分数の計算でも、分配法則が成り立つことを理解している。（－6）
中1	国語	▲第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。（煙幕）（－7） ▲文節について理解している。（－6） ▲単語について理解している。（－10） ▲文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。（－6）

	数学	○文章問題を解くための比例式を立式し、答えを求めることができる。(＋8) ○反比例の関係を式に表し、x の値に対応した y の値を求めることができる。(＋6) ○垂直な2直線の関係を表す記号について理解している。(＋7) ▲素因数分解について理解している。(－8) ▲累乗を含む正負の数の乗法ができる。(－5) ▲1次式の減法ができる。(－6) ▲簡単な1次方程式を解くことができる。(－8) ▲分数を含む1次方程式を解くことができる。(－11) ▲比例式を解くことができる。(－8) ▲比例の関係にある1組のxとyの値から、yをxの式で表すことができる。(－6) ▲三角形を対称移動させたときの図形を作図することができる。(－9)
	英語	○対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(whose を使って持ち主をたずねる)(＋8) ○対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(what を使って好きな動物をたずねる)(＋11) ○自分の家にあるお気に入りのものについて、相手に伝わるように書いている。(＋8) ○自分の家にあるお気に入りのものについて、具体的な説明を、相手に伝わるように書いている。(＋5) ▲日常的话题について聞き、必要な情報を把握している。(－7) ▲文の語順を理解し、正確に書いている。(命令文)(－12) ▲文の語順を理解し、正確に書いている。(主語が3人称単数の一般動詞の疑問文)(－9)
中2	国語	▲小学校で習った漢字を正しく書いている。(登録)(－15) ▲小学校で習った漢字を正しく書いている。(焼く)(－6)
	数学	○2つの1次関数のグラフの交点の座標を求めることができる。(＋5) ○多角形の外角の和について理解し、角の大きさを求めることができる。(＋6) ○三角形の合同条件について理解している。(＋6) ○かかる費用の求め方を理解し、10か月使用する場合にかかる費用を求めることができる。(＋5) ▲等式を変形して、式をある文字について解くことができる。(－6) ▲多項式の同類項をまとめる計算ができる。(－13) ▲仮定の指す内容について理解している。(－8)
	英語	○絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(～がある[いる]位置の表し方)(＋9) ○対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(be 動詞の過去形)(＋5) ▲対話を聞き、その意味を理解して適切に応答している。(相手の週末の予定を聞いて)(－9) ▲対話を聞き、対話の概要を捉えて適切に応答している。(何時に終わったのかとたずねられて)(－5) ▲対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(助動詞 must)(－9) ▲文の語順を理解し、正確に書いている。(don't have to の文)(－6) ▲対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(when を使って時をたずねる)(－5) ▲対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(相手に、自分の持ち物を使ってよいと伝える)(－6) ▲自由な時間にする好きなことについて、相手に伝わるように書いている。(－5) ▲自由な時間にする好きなことについて、その理由や説明を、相手に伝わるように書いている。(－6)

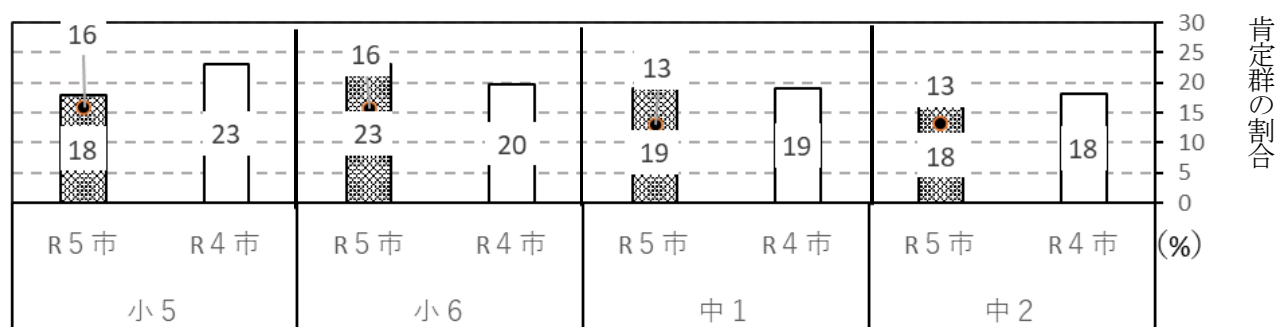
2 生活・学習に関する意識調査（児童生徒） ※肯定群の割合



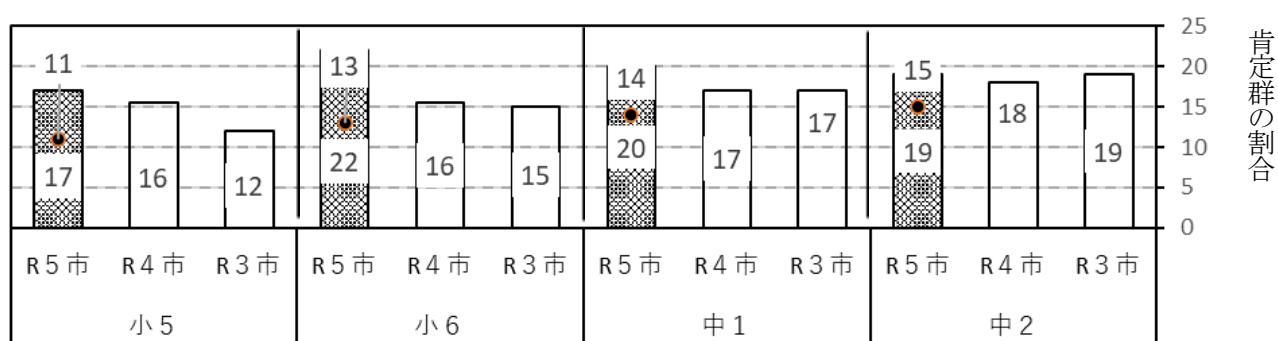
③学級の友だちとの間で話し合う活動を通して自分の考えを 深めたり、広げたりすることができていると思う。



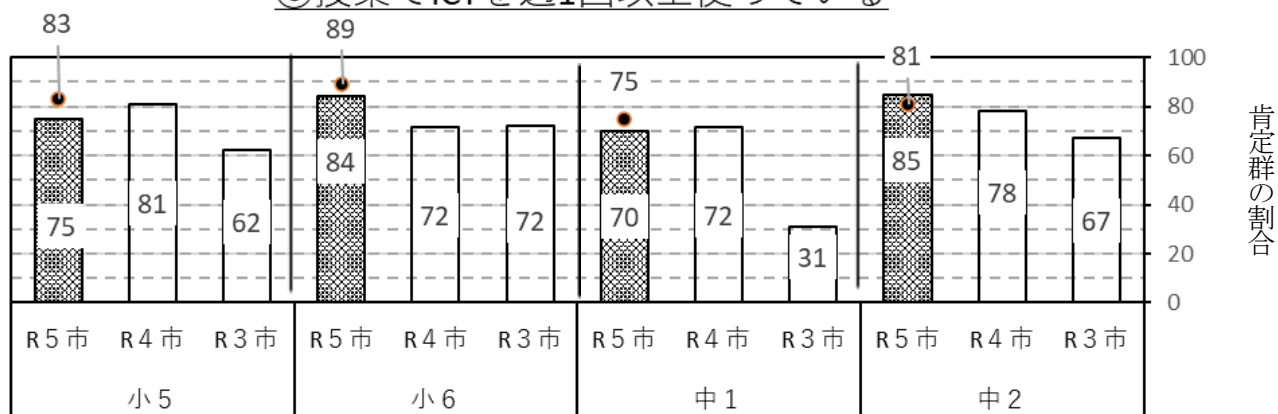
④普段（平日）テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）のプレイ時間4時間以上



⑤普段（平日）の携帯電話やスマートフォンを使ってのSNSや動画視聴の時間が4時間以上（学習使用を除く）



⑥授業でICTを週1回以上使っている



⑦図書館の資料を使った授業は役立っている

